

環境経営レポート

(2024年1月 ~ 2024年12月)



作成日 : 2025年 1月 31日

改定日 : 2025年 3月 31日

仲田産業株式会社

目次

1	組織の概要	P.3
2	対象範囲	P.3
3	環境経営方針	P.4
4	環境経営組織図及び役割・責任・権限	P.5
5	環境経営目標・環境経営目標に対する実績	
5.1	中長期目標	P.6
5.2	2024年運用結果(2024年1月～2024年12月)	P.7
5.3	過去の運用推移(2009年～2024年)	P.8
6	環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容	P.9
7	環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P.10
8	代表者による全体評価と見直しの結果	P.11

1. 組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

仲田産業株式会社 代表取締役 仲田 雄一

(2)所在地

本社
〒131-0045
東京都墨田区押上1-43-12

三郷倉庫
〒341-0034
埼玉県三郷市新和5-103-4

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者及び担当者(兼任) 仲田 佳美

電話番号 03-3623-1790 FAX番号 03-3621-1197

(4)事業内容

工業用ゴム製品、樹脂製品、金属加工部品、
関連資材の販売

(5)事業の規模

令和6年度売上高	21,600万円
従業員数	6名
事業所の延べ床面積	269m ²

(6)資本金

1,000万円

2. 対象範囲

本社と三郷倉庫

3. 環境経営方針

《環境経営理念》

仲田産業株式会社は、地球環境の未来を見つめ、地球環境の保全が社会全体の共通課題であるという認識に立ち、工業用ゴム・樹脂製品、関連資材の販売などを通じて、環境保全と汚染防止に努めると共に、住みよい地球環境と地球環境の実現のため、環境改善に積極的に取り組み、貢献します。

《基本方針》

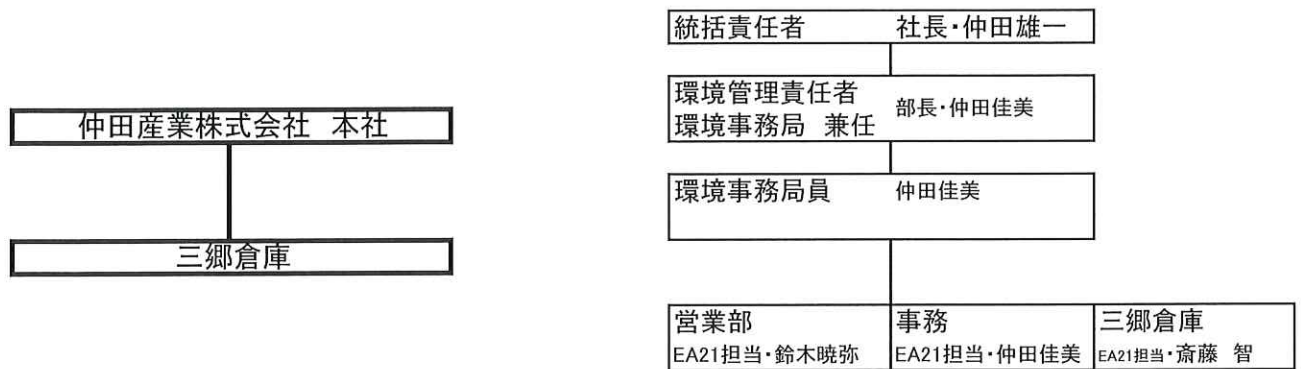
1. 次の環境保全の重要事項に対して、環境目標を設定して取り組み必要があれば見直しを行います。
 - ① 省エネルギーを推進し、二酸化炭素の削減
 - ② 廃棄物の排出抑制と適正処理
 - ③ 省資源(水使用量、紙使用量の削減)
 - ④ 環境に配慮した製品・資材の提案と販売推進
 - ⑤ 事務用品のグリーン購入
2. 環境関連の法規制、条例、および当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2014年7月2日

仲田産業株式会社

代表取締役 仲田 雄一

4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
統括責任者(社長) 仲田 雄一	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 課題とチャンスの明確化 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 仲田 佳美	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・活動計画書を確認 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局員 仲田佳美(兼任)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境経営への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境経営目標・環境活動計画書原案の作成 環境経営活動の実績集計 環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 従業員に対する教育訓練の実施 手順書作成及び運用管理 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
部門長 営業 EA21担当 鈴木暁弥 事務 EA21担当 仲田佳美 三郷 EA21担当 斎藤 智	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

5. 環境経営目標・環境経営目標に対する実績

5.1 中長期目標(2023～2025年)

取組項目	2022年 実測値 (基準年)	2023年 目標値	2024年 目標値	2025年 目標値
電気使用量	8,352kWh 3616kg-CO ₂	8,310kWh 3,598kg-CO ₂ (0.5%削減)	8,268kWh 3,580kg-CO ₂ (1%削減)	8,227kWh 3,562kg-CO ₂ (1.5%削減)
自動車燃料使用量	4,675L 11,205kg-CO ₂	4,652L 11,149kg-CO ₂ (0.5%削減)	4,628L 11,093kg-CO ₂ (1%削減)	4,605L 11,037kg-CO ₂ (1.5%削減)
二酸化炭素発生量	15,041kg-CO ₂	14,966kg-CO ₂ (0.5%削減)	14,891kg-CO ₂ (1%削減)	14,815kg-CO ₂ (1.5%削減)
一般廃棄物発生量	113.2kg	112.6kg (0.5%削減)	112.1kg (1%削減)	111.5kg (1.5%削減)
コピー用紙使用量	159.1kg	158.3kg (0.5%削減)	157.5kg (1%削減)	156.7kg (1.5%削減)
排水量	72m ³	71.8m ³ (0.25%削減)	71.6m ³ (0.5%削減)	71.5m ³ (0.75%削減)
環境配慮製品の提案 ・販売促進	81件	85件	90件	95件
事務用品のグリーン購入	52%	53%	54%	55%

* 排出係数は、令和3年1月環境省地球環境局からの
「電気事業者ごとの実排出係数の公表」を参照し、
調整後排出係数0.433(Kg-CO₂/kWh)を使用して算出しました。

5.2 2024年運用結果(2024. 1. 1～ 12. 31)

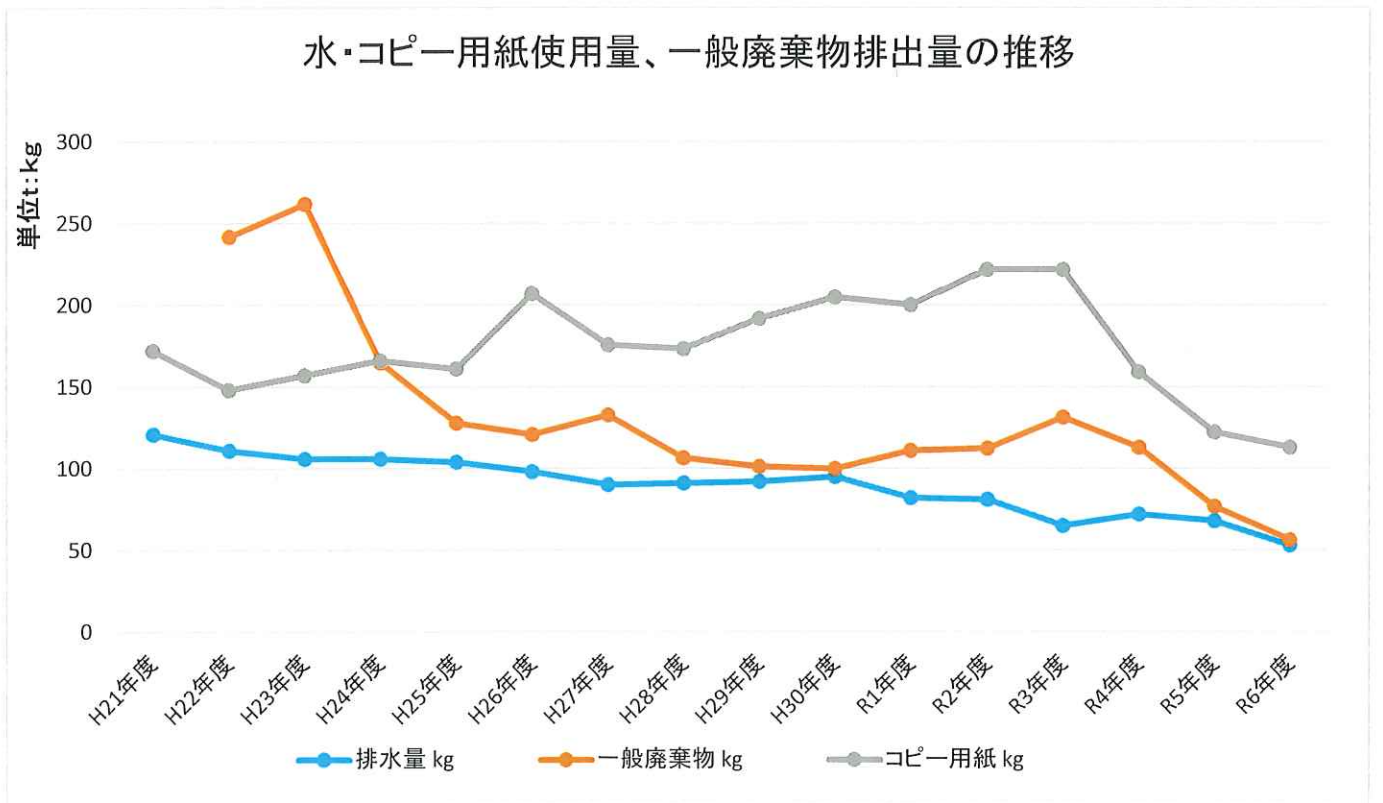
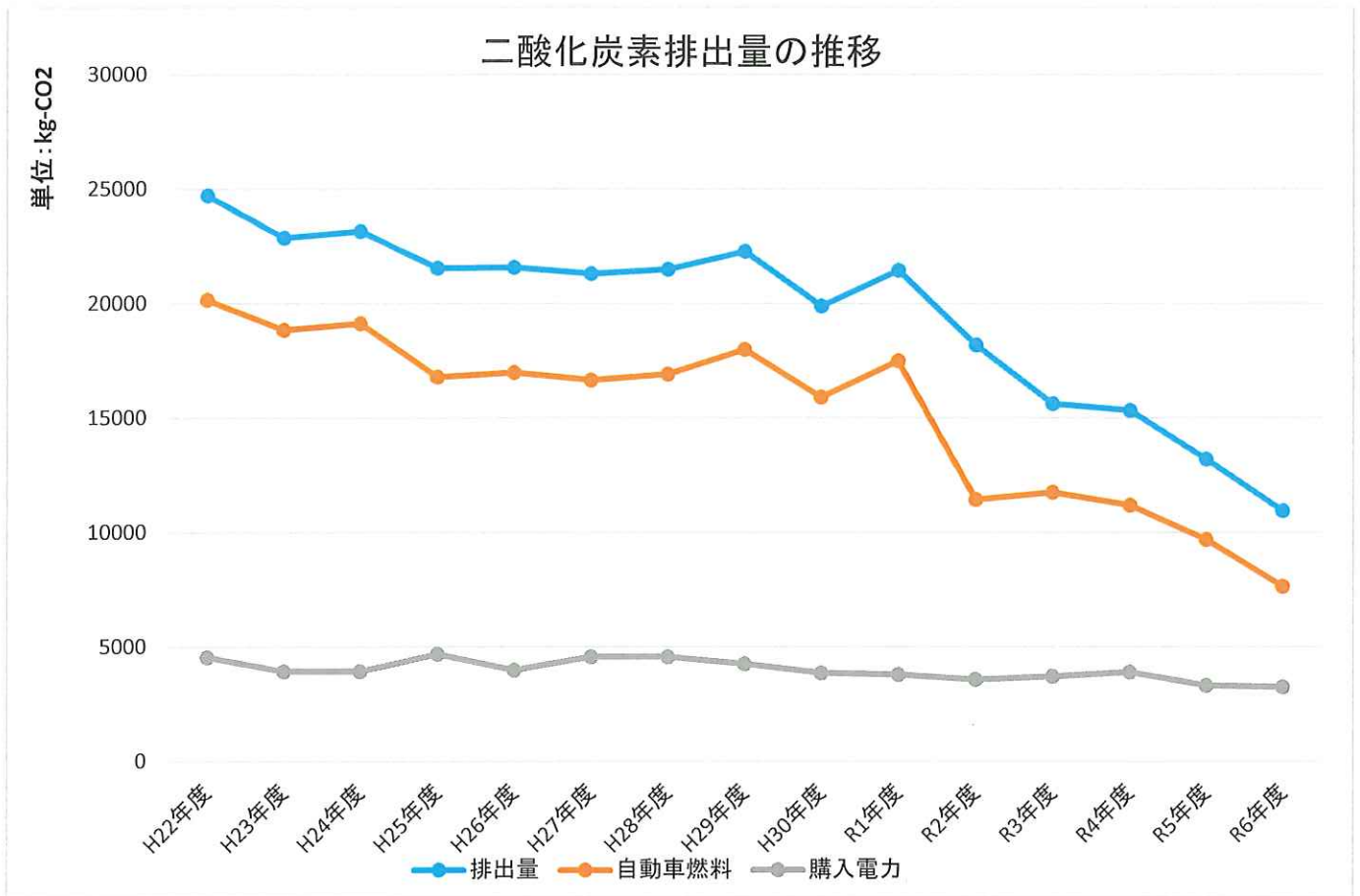
取組項目	2024年 目標	2024年 実績	* 2024年評価
電気使用量	8,268kWh 3,580kg-CO ₂	7,500kWh 3,248kg-CO ₂	◎
自動車燃料使用量	4,628L 11,093kg-CO ₂	3,297L 7,649kg-CO ₂	◎
二酸化炭素発生量	14,891kg-CO ₂	10,946kg-CO ₂	◎
一般廃棄物発生量	112.1kg	56.4kg	◎
コピー用紙使用量	157.5kg	113.0kg	◎
排水量	71.6m ³	53m ³	◎
環境配慮製品の提案 ・販売促進	90件	113件	◎
事務用品のグリーン購入	54%	56%	○

* 排出係数は、令和3年1月環境省地球環境局からの「電気事業者ごとの実排出係数の公表」を参照し、排出係数0.433(Kg-CO₂/kWh)を使用して算出しました。

* 目標に対する実績の評価（対応策の詳細は、P9に記載）

- ◎ 目標を達成
- 目標を、ほぼ、達成
- △ 目標未達、一段の努力が必要
- × 目標達成に向け再検討が必要

5.3 過去の運用推移(2009～ 2024)



6. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度への取組

環境経営計画	取組	結果	評価	次年度取組
電気使用量の削減	未使用時の電気の消灯の徹底(昼休みの消灯)	未使用時の電気の消灯、昼休みの消灯は社員が率先して実行している。	◎	継続して実施
	空調温度の管理(冷房28℃、暖房22℃)	空調温度の管理(冷房28℃、暖房22℃)は、厳守している。	○	継続して実施
	パソコンの節電モード設定	パソコンの節電モード設定は、全数設定した。	○	継続して実施
	クールビズ、ウォームビズ運動	クールビズ、ウォームビズ運動を積極的に行った。	◎	継続して実施
	白熱灯取替時も省エネ型ランプ採用	白熱灯から省エネ型ランプを採用している。	○	継続して実施
自動車燃料使用量の削減	エコ運転と燃費の見える化で燃費改善,個人目標設定	エコ運転は、燃費の明確化により各自エコ運転を意識しているが個人目標は未設定でした	○	継続して実施
	アイドリングストップ	アイドリングストップは、出来ている人と出来ない人がいる。	○	継続して実施
	急加速、急停車の防止	急加速、急停車の防止も人により出来ている人いない人が居る。	○	継続して実施
	冷暖房の控え目使用	冷暖房の控え目使用については、温度計設置により改善している。	○	継続して実施
	社有車の効率的運用	社有車の効率的運用は、社員間で協力して実施できている。	○	継続して実施
	通勤・営業活動時の公共交通機関の利用	通勤・営業活動時の公共交通機関の利用も社員間で協力してできている。	○	継続して実施
	燃費の良い車の購入(リース更新時)	燃費の良い車の購入については、リース更新時に考慮する。	○	継続して実施
	運賃のアウトソーシングを検討	自社のガソリン代と他社の運送代の経費を比べ、大きな納品物はアウトソーシングを行った。	◎	継続して実施
廃棄物の削減	梱包資材(段ボール、紐等)のリサイクル化徹底	梱包資材(段ボール、紐等)のリサイクル化は、ほぼ出来ている	○	継続して実施
	ゴミ分別廃棄の強化	ゴミ分別の強化を徹底し、廃棄量削減を図る。	○	継続して実施
	ペットボトル、缶、瓶のリサイクル	ペットボトル、缶、瓶のリサイクルは、ほぼ出来ている。	○	継続して実施
	エコキャップ運動	エコキャップ運動、取組が定着しているので今後も引き続き行う。	○	継続して実施
	可燃ごみの廃棄物の削減	資源ごみとの分別の徹底し、廃棄量削減を図る。	◎	継続して実施
コピー用紙使用量削減	裏紙の再利用と両面コピーによる無駄の徹底	裏面再利用は、ほぼ徹底されている	○	継続して実施
	ミスコピーの防止	ミスコピーの防止は、各自注意してほぼ出来ている。	○	継続して実施
	PDF化によるコピー用紙の削減	電子帳簿保存法によりクラウド化を推進しプリントアウトの減少が出来た	◎	継続して実施
排水量の削減	水洗付近に節水シールを貼り注意を喚起	水洗付近に節水シールを貼り注意を実施した。	○	継続して実施
	掃除、清掃、手洗いや洗い物の際、かけ流し禁止	清掃、洗い物の際、かけ流し禁止を実施している。	○	継続して実施
	トイレ、手洗い場の節水	トイレ、手洗い場の節水も実施している。	○	継続して実施
環境に配慮した製品の拡販推進	再生ゴム、エコ樹脂の提案、PR及び販売推進、リポリの販促	取引先への再生ゴム、エコ樹脂のPR及び説明をしている。少しずつ浸透してきている。リポリの販売促進を勧める	○	継続して実施
事務用品のグリーン購入	事務用品のグリーン製品の積極購入	グリーン商品を積極的に購入しているがコロナ対策品にグリーン商品がすくない。	○	継続して実施

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに造反、訴訟の有無

法令などの名称	規制内容	当社の対応状況	評価判定
墨田区廃棄物の減量及び処理に関する条例	第10条、第25条、第46条、第51条・事業系一般廃棄物	事業系有料ごみ処理券購入	○
三郷市廃棄物の処理及び再利用並びに資源物の持去り防止に関する条例	第14条、規則4,7,8,9条・事業系一般廃棄物	事業系有料ごみ処理券購入	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第19条・第1種特定製品 第16条・簡易定期点検	業務用エアコン室外機 簡易定期点検実施	○
経済産業省環境省公示13号「第1種特定製品の管理者の判断の基準となる事項」	点検記録をフロン使用製品廃棄後も3年間保存す	記録は3年間保管	○
消防法	第17条・消防用設備点検 第9条2・住宅用火災警報器設置	・消火器の設置、定期点検及び報告 ・火災警報器の設置	○
自動車リサイクル法	第8条・使用済み自動車の再資源化、フロンの回収 第23条・新車購入時にリサイクル費用を支払う	・排出時対応 ・購入時対応	該当なし

関連法規制への違反はありませんでした。

なお、当局よりの違反・訴訟等も全くありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

	前回の指示内容	取組結果
1	環境配慮製品の提案・販売促進	目標より28件多かった、目標達成できた。
2	事務用品のグリーン購入	目標より2%上回ることができ、目標達成できた。
3		

2024年は訪日外客数の増加があるもののアメリカの政権交代や相次ぐ日本での自然災害など、先行き不透明感がありました。また、賃金・物価上昇の持続性が高まり実質賃金の回復の遅れなどもあって停滞感が強かったです。社内的には、今年は社員の入退社が多く、非常に困難な一年でした。

電気使用量は、本年6月に本社1階、2階ともに低燃費仕様の冷暖房機に入れ替えました。

これにサーキュレーターを併用し、夏の猛暑、冬の厳冬でしたがクールビズやウォームビズなど、社員全員で工夫して結果的に目標値の9%減で達成できました。

自動車燃料使用量は、昨年トラックをリースバックたので軽油がなくなり、その影響で目標より29%減少して目標達成することができました。低燃費冷暖房機への入替やトラックのリースバックなどにより、

全体の二酸化炭素発生量は目標の26.5%減少できました。

一般廃棄物は、昨年担当者の積極的な声掛けでゴミの持ち帰り運動を推進しましたが、その担当者が9月に退社し、その後心配でしたが、既にごみの持ち帰り運動は社員に浸透し継続できました。

また、古紙も資源ごみに出したため、目標を大幅に下回り50%減することができました。

コピー用紙使用量は、電子帳簿保存法に伴う伝票類の電子化、販売管理ソフトをクラウド化したことにより注文書、見積書、図面など証憑保存することができるようになりました。そのため、使用量が目標の29%減とすることができ、目標達成できました。

排水量は、社員が少なくなったり、三郷倉庫での水を使用して製品を仕上げる仕事が廃盤になった影響で、目標の26%減で目標達成できました。

環境に配慮した製品の提案や拡販は、昨年専任の営業社員が退社し、その後引き継いだ営業社員も今年9月に退職、一時的に減少しましたが新規採用した営業社員が踏ん張り目標より23件多く、目標を達成できました。

事務用品のグリーン購入は、積極的にグリーン商品を補充するよう対応しました。その結果目標より2%上回ることができました。

番号	内容	見直し	事由
①	環境経営方針	不要	特に見直す必要がないと判断した
②	環境経営目標及び環境経営計画	不要	特に見直す必要がないと判断した
③	実施体制	不要	特に見直す必要がないと判断した

来期は、

環境配慮製品の提案・販売促進と事務用品のグリーン購入、で目標が達成できるよう努力していきます。

以上、この2点を来期の重点項目とし、今後も継続できるよう努力していきます。